

人が採れない・定着率が低いと悩んでいませんか？

半日

# 今年の給与改定 ここがツボ！

—— 足で集めた生の情報「ズバリ！ 実在賃金」で自社の競争力を再確認 ——

日時：2017年2月20日（月）13:00～17:00 / 会場：当社セミナールーム（マザックアートプラザ10F）（裏面ご参照）

講師：北見式賃金研究所 所長 社会保険労務士 給与コンサルタント きたみ まさお 北見 昌朗 氏

〈対象〉経営者・経営幹部、総務・人事・経理部門の皆さま ※税理士・社会保険労務士・コンサルタントの方はご遠慮ください

★特に次のような方に最適です。

- ◎業績を上げたい、社員の年収を上げたい、モラルを上げたい経営者
- ◎法令遵守で堂々と経営をしたいとお考えの経営者

## ●セミナーのねらい

「求人難」に悩む中小企業が多くなりました。「定着率」も悪化しています。そこで、自社の賃金水準を改めてチェックする必要があるのではないのでしょうか？ 初任給は？ 賃上げは？ 等々が気になります。

本セミナーでは、中小企業の給与問題に精通した北見講師を招き、講師自ら足で集めた生の給与データの統計「ズバリ！実在賃金」に基づき、来年度の給与改定を行う際のポイントを解説します。すぐに参考にできるノウハウ満載です。ふるってご参加ください。

当日の  
配布資料

- 賃金変化がバッチリわかる最新賃金グラフ
- 中小企業の賃金相場（年収・賃金総額・所定内賃金・年間賞与）がわかるグラフ

※いずれも他では手に入らない貴重なデータです。

講師の北見氏は様々な団体で講演を行っていますが、データは基本的にプロジェクターでお見せするだけです。これだけの貴重なデータを資料としてお持ち帰りいただけるのは、本セミナーだけの特典です！！

## ●カリキュラム

- 電卓、筆記具をお持ちください。 ● 撮影、録音はご遠慮願います。

### 第1部 コレが現実 最新の賃金情報

賃金は、世間相場と社内バランスをチェックすること  
年収は？ 賃金の総支給額は？ 所定内の賃金は？ 基本給は？  
幹部の報酬は？ 役員報酬は？ 定着率は？

実際の賃金明細を集めた  
「ズバリ！ 実在賃金」の最新情報を提供

### 第2部 今年の賃金改定はココがポイント

#### その① 労働力の確保

- (1) ライバル会社の求人情報をネットで漏れなくゲットする方法
- (2) 初任給の最新情報
- (3) 固定残業代をハローワークが問題視、指導強化
- (4) 年次有給休暇取得の義務化（5日）
- (5) 応募者が集まる求人サイトの見本紹介

#### その② 従業員の定着化

- (1) 課長に残業代を払う

- (2) 前年の賃金結果を元に新春の賃上げをズバリ予測  
～新賃金モデルを紹介

#### その③ 従業員のやる気を起こす

- 配偶者控除廃止に伴う家族手当の見直し  
～配偶者分を廃止し、子供分を増額

#### その④ 中高年従業員の活躍

- (1) 中高年の賃金は職務能力に応じてメリハリをつける
- (2) やる気と能力のある人は年金を受給せずに働くコースを設定  
(60代前半は現役、後半は第2現役世代)

#### その⑤ 従業員のモチベーションを高め 業績向上につなげる

- (1) 「1人あたりの粗利益」が前年を上回ったら  
業績手当を全員に支給
- (2) 業績連動型の賞与
- (3) 「一致団結」の風土を定着させる

※プログラムの詳細は変更となる場合がございますので、ご了承ください。



講師：北見式賃金研究所 所長 社会保険労務士  
給与コンサルタント

きたみ まさお  
北見 昌朗氏

名古屋市出身。昭和34年生まれ。平7年に社労士事務所を創業。  
「社長、人を増やしたらいけませんよ」と助言しながら、増やしてしまっただけ。今ではなんと30人以上も。最近では、育児休業の職員、退職者が発生して募集するが、埋まらずに頭を抱えている。職員から『社労士の仕事はハイレベルなのに、会社の賃金は低過ぎる』と不満を言われ悔しい思いをしている。同じ立場の社長の援護射撃になればと「ズバリ！実在賃金」を創作。  
URL 株式会社北見式賃金研究所 <http://www.tingin.jp/>  
【著書】「幹部に年収1千万円を払う会社になるう」(PHP研究所)他多数。

※申込み先着順・指定席(受講番号のお席になります)  
※諸般の事情により、やむを得ず開催を見合わせる場合もございます。ご了承ください。

### ●お申込手続き

- お申込方法
  - 下記の「受講申込書」にご記入のうえ、ファクシミリで当社宛にお送りください。折り返し「受講証」と「請求書」をお送りいたします。受講証が届かない場合は、右記「照会先」までお問合せください。
  - 当社ホームページ(<http://www.murc.jp>)経由でもお申込みいただけます。
- 受講料のお支払い方法
  - 銀行振込の場合…開催日の2日前(土/日/祝日を除く)までにお振込みください。振込手数料は御社でご負担ください。「振込金受取書」を領収証としてご使用ください。
  - SQUET-DC法人ゴールドカードの場合…カードご精算日にご指定の口座より引き落としとなります。
  - 三菱東京UFJ銀行「口座振替」の場合…ご精算日にご登録された口座より引き落としとなります。

※②③は会員企業様のみご利用いただけます。  
※なお、いずれも領収証は発行いたしません。
- 受講お取消し  
開催日の前日(土/日/祝日を除く)17:00までにご連絡ください。受講料を全額ご返金いたします。ただし、それ以降のキャンセルにつきましては、ご返金いたしかねます。また、他のセミナーへのお振り替えもいたしかねますのでご了承ください。

### ●受講料 (テキスト代を含む/昼食代は含みません)

\*1社2名以上受講の場合は、1名につき1,080円の割引をいたします。

SQUET特別会員	19,440円	(うち消費税込)	1,440円
SQUET一般会員	22,680円	(うち消費税込)	1,680円
提携先会員	24,840円	(うち消費税込)	1,840円
会員以外	28,080円	(うち消費税込)	2,080円

### お申込・照会先

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社  
〒461-8516 名古屋市東区葵1-19-30 マザックアートプラザ  
TEL(052)307-1105 FAX(052)307-1128  
Eメール [seminar-n@murc.jp](mailto:seminar-n@murc.jp)  
MURCホームページ <http://www.murc.jp>  
SQUET URL <http://www.squet.jp>

### 会場案内

当社セミナールーム (開場 9:30)  
名古屋市東区葵1-19-30  
マザックアートプラザ オフィス棟10F

●地下鉄(東山線)「新栄町駅」北改札口より直結  
※専用駐車場のご用意はございません。(公共交通機関をご利用ください)



◆上記「お申込手続き」および下記の「個人情報の取扱いについて」等を承諾のうえ申し込みます。

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社

FAX(052)307-1128 MURCホームページ <http://www.murc.jp>

受講申込書		今年の給与改定 ここがツボ!		2017年 2/20(月)	セミナー番号 620
◆該当する番号を○で囲んでください。 1. SQUET特別会員 3. 提携先会員 2. SQUET一般会員 4. 会員以外		会員番号		受講料 円 (名様分)	
(三菱東京UFJ銀行お取引店		支社・支店)		お支払い方法 ◆該当する番号を○で囲んでください。 1. 銀行振込 2. SQUET-DC法人ゴールドカード } 会員企業様のみ 3. 三菱東京UFJ銀行「口座振替」 } ご利用いただけます。 ※チェックがない場合は「銀行振込」とさせていただきます。	
会社名		TEL		-	
住所 (〒 )		FAX		-	
業種・業態・扱ひ品		従業員		名 資本金 百万円	
氏名		所属・役職名		Eメールアドレス	
派遣責任者 ※受講証等の郵送先					
セミナー受講者					
セミナー受講者					
セミナー受講者					

#### 【個人情報の取扱いについて】

\*ご記入いただきました個人情報は、当社の「個人情報保護方針」及び「個人情報の取扱いについて」(<http://www.murc.jp/corporate/privacy>)に従って適切に取り扱います。  
\*ご記入いただきました個人情報は、本セミナーの運営や今後の企画のために利用させていただきます。  
また、利用目的の範囲内において、当社以外の第三者に個人情報の取り扱いを委託することがある他、セミナー講師に参加者名簿として提供することがあります。  
\*ご記入内容について、内容確認のご連絡をさせていただくことがあります。  
\*なお、この情報を元に、今後のセミナー、サービス等のご案内をさせていただく場合があります。 □郵送不要 □FAX不要 □Eメール不要  
ご案内のための新規登録が不要の場合は、□にレをご記入ください。  
\*お預かりしている個人情報の開示、削除等のお申し出、その他のお問合せにつきましては、上記の照会先までご連絡ください。  
【お申込みをお断りする場合】  
\*反社会的勢力と判明した場合にはセミナーへのご出席をお断りいたします。\*諸事情を考慮の上、セミナーへの出席をお断りさせていただくことがあります。

